

高等教育の修学支援新制度に係る令和6年度 機関要件の更新確認申請について（お知らせ）

国では経済的な理由で学び続けることをあきらめないよう、『高等教育の修学支援新制度』（授業料等減免・給付型奨学金）を導入することとし、令和2年4月より制度がスタートしました。

本校は、令和3年度より『高等教育の修学支援新制度の対象機関』となっております。

令和6年度機関要件更新確認申請についても、北海道より要件を満たしている旨の通知をいただきましたので、規則に基づき「更新確認申請書」を公表いたします。

本校の他の情報につきましては、トップページの「職業実践専門課程・情報公開」からご覧いただけます。

なお、『高等教育の修学支援新制度の対象機関リスト』（機関要件確認校）は、北海道のホームページにおいて公表されています。

令和6年度確認申請書 令和6年6月

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	くしろせんもん学校
設置者名	学校法人 ほっかいどう学院

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
専門課程	こども環境科	夜・通信	180 時間	160 時間	
	介護環境科	夜・通信	180 時間	160 時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

シラバスに掲載し、ホームページにより公表 (www.sakaseru.com)

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	くしろせんもん学校
設置者名	学校法人 ほっかいどう学院

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにより公表 (www.sakaseru.com)

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容 や期待する役割
非常勤	会社役員	2022. 12. 26 ～ 2026. 12. 25	企画・調整
非常勤	会社役員	2022. 12. 26 ～ 2026. 12. 25	企画・調整
非常勤	税理士	2024. 5. 1 ～ 2026. 12. 25	企画・調整
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	くしろせんもん学校
設置者名	学校法人 ほっかいどう学院

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。	
(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 前年度末までに、授業の目標、授業の概要、授業計画（各授業時間の学習内容概要）、評価方法、テキスト等を示したシラバスを各講義ごとA4版で作成し、講義開始時に授業科目担当者から学生に配布し、説明している。 ○ 年度末に職員会議（カリキュラム委員会に相当）において当該年度の「シラバス」の記載事項や様式等について振り返りを行い、次年度の作成に生かしている。 	
授業計画書の公表方法	ホームページにより公表（www.sakaseru.com）
2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。	
(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ○ 科目ごとの全講義回数の3分の2以上出席した学生を評価（単位認定）の対象としている。 ○ 上記学生について、科目の内容により、筆記試験、実技試験、レポート、受講態度（学修意欲）等を総合して100点満点で評価し、60点以上を合格として単位を認定している。【秀（A）90点以上、優（B）80点以上90点未満、良（C）70点以上80点未満、可（D）60点以上70点未満、不可（E）60点未満】 ○ 上記内容は、「学生のしおり」に記載し、年度当初全学生に配布しTA（ティーチングアドバイザー＝学級担任に相当）から説明している。 	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>	
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 科目ごと講義の内容により筆記試験、実技試験、レポート、受講態度（学修意欲）等の結果を総合して 100 点満点で評価（点数化）し、全科目の合計点の平均（100 点満点）を算出して下位 4 分の 1 に相当する学生を確定している。 ○ 上記内容は、年度当初、全学生に T A（ティーチングアドバイザー＝学級担任に相当）から説明している。 	
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページにより公表（www.sakaseru.com）</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p>	
<p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 各学生の科目ごとの評価一覧表（教務作成）に基づき、卒業・進級判定会議において各学生ごと各科目の単位認定の状況を確認し、協議の上（学則第 11 条の規定による）認定を行っている。 ○ 年度末に職員会議において論議の上、翌年度の認定の方針を策定している。 ○ 上記内容は、年度当初、全学生に T A（ティーチングアドバイザー＝学級担任に相当）から説明している。 	
<p>卒業の認定に関する方針の公表方法</p>	<p>ホームページにより公表（www.sakaseru.com）</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	くしろせんもん学校
設置者名	学校法人 ほっかいどう学院

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにより公表 (www.sakaseru.com)
収支計算書又は損益計算書	ホームページにより公表 (www.sakaseru.com)
財産目録	ホームページにより公表 (www.sakaseru.com)
事業報告書	ホームページにより公表 (www.sakaseru.com)
監事による監査報告（書）	ホームページにより公表 (www.sakaseru.com)

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
教育・社会福祉		専門課程	こども環境科	○			
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	79単位	42 単位	63 単位	11 単位	0 単位	1 単位
	夜		117単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
85人		38人	0人	9人	16人	25人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <p>○ 前年度末までに、授業の目標、授業の概要、授業計画（各授業時間の学習内容概要）、評価方法、テキスト等を示したシラバスを各講義ごとA4版で作成し、講義開始時に授業科目担当者から学生に配布し、説明している。</p> <p>○ 年度末に職員会議（カリキュラム委員会に相当）において当該年度の「シラバス」の記載事項や様式等について振り返りを行い、次年度の作成に生かしている。</p>
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>○ 科目ごとの全講義回数の3分の2以上出席した学生を評価（単位認定）の対象としている。</p> <p>○ 上記学生について、科目の内容により、筆記試験、実技試験、レポート、受講態度（学修意欲）等を総合して100点満点で評価し、60点以上を合格として単位を認定している。【秀（A）90点以上、優（B）80点以上90点未満、良（C）70点以上80点未満、可（D）60点以上70点未満、不可（E）60点未満】</p> <p>○ 上記内容は、「学生のしおり」に記載し、年度当初全学生に配布しTA（ティーチングアドバイザー＝学級担任に相当）から説明している。</p>

卒業・進級の認定基準
(概要) ○ 科目ごと講義の内容により筆記試験、実技試験、レポート、受講態度（学修意欲）等の結果を総合して100点満点で評価（点数化）し、全科目の合計点の平均（100点満点）を算出して下位4分の1に相当する学生を確定している。 ○ 上記内容は、年度当初、全学生にTA（ティーチングアドバイザー＝学級担任に相当）から説明している。
学修支援等
(概要) ○ 学習面・生活面・実習等についてTA（ティーチングアドバイザー＝学級担任に相当）による個人面談の随時実施 ○ 学科の所属講師による個別相談の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
21人 (100%)	0人 (0%)	20人 (95.2%)	1人 (4.8%)
(主な就職、業界等) 市町村保育士、幼保連携型認定こども園、幼稚園、保育園・託児所、児童福祉施設			
(就職指導内容) ジョブカード有資格者の教員による就職相談、担任による就職指導、施設からの求人訪問者による学生へのミニ説明会など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 保育士、幼稚園教諭2種免許状、ネイチャーゲームリーダー、ムーブメント教育・療法初級指導員			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
42人	0人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) ○ 出身高校から入学者の情報を提供してもらい、学習及び学校生活支援の際に生かしている。 ○ TA（ティーチングアドバイザー＝学級担任に相当）を中心にその他教職員の連携のもと、個人面談を計画的かつ状況に応じて実施している。 ○ 保護者との情報共有を重視しながら連携を進めるとともに、必要に応じ、保護者懇談会や保護者との個別面談を実施している。		

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士			
教育・社会福祉	介護環境科	介護環境科	○				
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,700単位時間	710 単位時間	1,140 単位時間	450 単位時間	0 単位時間	0 単位時間
			2,300単位時間				
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
60人	19人	0人	3人	25人	28人		

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前年度末までに、授業の目標、授業の概要、授業計画（各授業時間の学習内容概要）、評価方法、テキスト等を示したシラバスを各講義ごとA4版で作成し、講義開始時に授業科目担当者から学生に配布し、説明している。 ○ 年度末に職員会議（カリキュラム委員会に相当）において当該年度の「シラバス」の記載事項や様式等について振り返りを行い、次年度の作成に生かしている。
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 科目ごとの全講義回数の3分の2以上出席した学生を評価（単位認定）の対象としている。 ○ 上記学生について、科目の内容により、筆記試験、実技試験、レポート、受講態度（学修意欲）等を総合して100点満点で評価し、60点以上を合格として単位を認定している。【秀（A）90点以上、優（B）80点以上90点未満、良（C）70点以上80点未満、可（D）60点以上70点未満、不可（E）60点未満】 ○ 上記内容は、「学生のしおり」に記載し、年度当初全学生に配布しTA（ティーチングアドバイザー＝学級担任に相当）から説明している。
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 科目ごと講義の内容により筆記試験、実技試験、レポート、受講態度（学修意欲）等の結果を総合して100点満点で評価（点数化）し、全科目の合計点の平均（100点満点）を算出して下位4分の1に相当する学生を確定している。 ○ 上記内容は、年度当初、全学生にTA（ティーチングアドバイザー＝学級担任に相当）から説明している。
学修支援等
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 学習面・生活面・実習等についてTA（ティーチングアドバイザー＝学級担任に相当）による個人面談の随時実施 ○ 学科の所属講師による個別相談の実施

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
12人 (100%)	0人 (0%)	11人 (91.7%)	1人 (8.3%)
(主な就職、業界等) 高齢者福祉施設			
(就職指導内容) ジョブカード有資格者の教員による就職相談、担任による就職指導、施設からの求人訪問者による学生へのミニ説明会など			
(主な学修成果（資格・検定等）) 介護福祉士国家試験受験資格、アクティビティ・インストラクター、初級パラスポーツ指導員、同行援護従業者、全身性障害者移動介護従業者、ピアヘルパー			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	1人	4.2%
(中途退学の主な理由) 家庭の事情		
(中退防止・中退者支援のための取組) ○ 出身高校から入学者の情報を提供してもらい、学習及び学校生活支援の際に生かしている。 ○ TA（ティーチングアドバイザー＝学級担任に相当）を中心にその他教職員の連携のもと、個人面談を計画的かつ状況に応じて実施している。 ○ 保護者との情報共有を重視しながら連携を進めるとともに、必要に応じ、保護者懇談会や保護者との個別面談を実施している。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
こども 環境科	200,000 円	600,000 円	160,000 円	施設運営費 160,000 円
介護 環境科	200,000 円	600,000 円	160,000 円	施設運営費 160,000 円
修学支援 (任意記載事項)				
○AO 入学及び推薦入学による学生を、対象に授業料を 5 万円減免。(1 年次)				
○特待生を対象に、授業料を 30 万円減免。(1・2 年次)				
○給付型奨学金の採用候補者である入学生に対しては、入学後、採用結果が確定してから入学金及び前期分授業料を徴収している。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ (www.sakaseru.com)		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
専修学校における学校評価ガイドラインに基づき、住民代表や業界団体等からなる学校関係者評価委員会 (定数 7 名) を設置し、学校自己評価 (1 月) 等の結果に基づき、学校運営・教育活動・学修成果・学生支援・教育環境・学生の受け入れ募集等について意見交換・評価を実施 (2 月) し、教職員との共通理解・連携・協力を推進すると共に、校長のリーダーシップのもと評価結果を次年度の学校運営の改善に生かし、教育活動の質の向上を図る。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
釧路市私立保育連合会 副会長	2023. 11～2025. 10	企業等委員
北海道教育大学 准教授	2023. 11～2025. 10	企業等委員
釧路聖母幼稚園 園長	2023. 11～2025. 10	企業等委員
北海道介護福祉士会釧路支部 支部長	2023. 11～2025. 10	企業等委員
日本福祉教育・ボランティア学習学会 会員	2023. 11～2025. 10	企業等委員
養護老人ホーム長生園 園長、特別養護老人ホーム武佐の里 園長	2023. 11～2025. 10	企業等委員
釧路市 P T A 連合会顧問・地域町内会会長	2023. 11～2025. 10	地域住民
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ (www.sakaseru.com)		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ホームページ (www.sakaseru.com)
--

(別紙)

※この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が 1 人以上 10 人以下の場合には、当該欄に「－」を記載すること。該当する人数が 0 人の場合には、「0 人」と記載すること。

学校コード	H101320600016
学校名	くしろせんもん学校
設置者名	学校法人 ほっかいどう学院

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者（家計急変による者を除く）		－	－	11人
内 訳	第Ⅰ区分	－	－	
	第Ⅱ区分	－	－	
	第Ⅲ区分	－	－	
	第Ⅳ区分	0人	0人	
家計急変による支援対象者（年間）				0人
合計（年間）				11人
(備考)				

※本表において、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第1号、第2号、第3号、第4号に掲げる区分をいう。

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）	
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了 できないことが確定		0人	0人
修得単位数が標準単位数 の5割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の5割以下)		0人	0人
出席率が5割以下その他 学修意欲が著しく低い状況		0人	0人
「警告」の区分に 連続して該当		0人	—
計		0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であつて、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遑つて認定の効力を失つた者の数

右以外の大学等		短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、高等 専門学校（認定専攻科を含む。）及 び専門学校（修業年限が2年以下の ものに限る。）			
年間		前半期	0人	後半期	0人
(備考)					

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のもの に限り、認定専攻科を含む。）、 高等専門学校（認定専攻科を含 む。）及び専門学校（修業年限が 2年以下のものに限る。）	
		年間	前半期
修得単位数が標準単位数 の6割以下 (単位制によらない専門学校に あつては、履修科目の単位時間 数が標準時間数の6割以下)		0人	0人
GPA等が下位4分の1		0人	0人
出席率が8割以下その他 学修意欲が低い状況		0人	—
計		0人	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。